



鶴ヶ島市立新町小学校 学校だより

SEIGAIHA 青海波

学校教育目標

かがやく自分へチャレンジ

令和8年4月8日発行

第1号

鶴ヶ島市新町4-25-1

049-285-6598

文責 校長 安達 隆元

校庭の花壇の花々が春の訪れを告げる中、本日、4月8日（水）、54名の新1年生を迎え、全校児童354名で令和8年度の新町小学校がスタートしました。

保護者の皆様には、お子様のご入学・ご進級を心からお祝い申し上げます

今年度も、新町小学校が開校してからこれまで築かれてきた教育を継承しつつ、更に発展させる気持ちをもって学校経営に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

さて、私が新町小学校の子どもたちの成長を願い、「目指す学校像」は以下のものです。

『一人一人が輝き、笑顔と確かな学びにあふれる学校』

『一人一人が輝く学校』とは、“進んで考え、相手に伝えることができ、相手を思いやることができる学校”だと感じています。『笑顔あふれる学校』とは、“【ありがとう】【ごめんなさい】【教えてほしい・手伝ってほしい】等、自分と友達がつながる表現が進んでできる学校”であると考えています。そして、『確かな学びにあふれる学校』とは、“前向きな雰囲気の中、学び・聞き合い、何事にも全力で挑戦できる学校”であると信じています。

自ら考え、相手を「思いやるやさしい言葉」があふれば、きっと安心・安全な学校につながります。そのことは、一生懸命に頑張る、また、苦手なことでも失敗を恐れず全力を出せる雰囲気につながります。

学校・学級が「自分と友達とつながる表現」であふれ、自分の失敗も友人の失敗も肯定的にとらえることができる場所であれば、自己肯定感が高まります。

学校内が、継続して挑戦し続けようとする「前向きな気持ち」の雰囲気であふれば、一人ひとりが進んで“考動”できるようになります。

様々な場面で、互いの意見や考えを聞き合いながら学びを深め、自分の学びのために友人と関わりを持つようになると、「互いに挑戦・成長できる」かがやく自分・学校になります。

これらのことは、将来、社会人として自らの人生を切り開き、豊かな人生を過ごす力にきつとつながることと思います。



4月は、どのお子様も、不安を抱えつつも、一方で大きな意欲を持ち、大きな夢や目標を胸一杯に抱きながら迎えていることと思います。我々教職員は、その想いに寄り添いながら、全力で指導・支援にあたらせて

いただきます。その際には、これまでと同様に、保護者の皆様と地域の皆様のご理解、ご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。